



庭や公園、学校の校庭などによく植えられているツバキやサザンカの木に、虫に食われた痕を見つけたら、チャドクガが食べた痕跡。毒を持っているので要注意です。

発行：
公益財団法人東京しごと財団
(東京都シルバー人材センター連合)

チャドクガ（茶毒蛾）にご用心

チャドクガ(茶毒蛾)は、<卵><幼虫(毛虫)><蛹><成虫(ガ)>、どの段階でも毒性を持っています。そのほか、孵化した後の卵の殻、脱皮後の抜け殻にも毒性の毛がついていることもあります。そのため、4月～10月まで、チャドクガに注意する時期が続きます。

発生時期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
卵										(越冬)		
幼虫(毛虫)												
成虫(ガ)												

発生する場所 ツバキ、サザンカ、ヒメシャラ、お茶の木、ビワの木等

気を付けること

□ **一番強力な毒をもっているのは、幼虫(毛虫)の時期です**

- ・ 背中黒い模様に生える、目に見えないほど小さな毛が、毒性を持つ針(毒針毛)です
- ・ 毒針毛は、抜けやすく、小さなトゲが付いているので、一度皮膚に付くと抜けにくい
- ・ 幼虫は、葉のうらに「密集・密接」して身を寄せ合い、集団行動をします
- ・ 幼虫は、音や振動などの外からの刺激に反応して、ゆらゆらと威嚇のような行動をするときに、毒針毛が風によって空気中に広がり、肌に刺さることがあります

□ **卵だから安心、毛虫でないから安心、ではありません**

- ・ 成虫も毒針毛をもち、産卵するときに成虫の毒針毛が付着するので卵も危険です
- ・ 幼虫(毛虫)の死骸のかたまり=毒のかたまりです
- ・ 孵化した後の卵の殻、脱皮した抜け殻にも、毒針毛は付着しています



卵、幼虫、成虫、死骸、抜け殻をとわず、直接手で触る・肌で触れることは、絶対に避けましょう

抜け殻等を片付けるときは、スプレーのりで固めると手っ取り早い

触れてしまったら

□ **どんな症状が現れるか**

- ・ 1～2時間ほどすると、痒み、赤い発疹が出る
- ・ 時間がたつほどに、痒みと痛みが激しくなる

禁 手でこする、搔く、なでる（毒針は折れやすく、患部を広げてしまうので、症状が悪化する）

□ **応急処置**

- ・ 刺された箇所に粘着テープを貼り付けて、毛を取り除く（ゴム手袋をして）
- ・ 強い流水で、患部を洗い、毒針毛を洗い流す（ゴシゴシと皮膚を擦ってはいけない）
- ・ 着ていた衣服は、
 - ①粘着テープで毛をとる
 - ②50℃以上のお湯で洗う
 - ③スチームアイロンをかける

禁 着ていた衣服を、そのまま洗濯機で洗うこと（毒針毛が他の衣服に移ってしまう）